

氏名 川村 英伸

所属 岩手県立宮古病院

役職 院長

これまでのキャリア

平成 21 年：臨床研修指導医講習会修了（第 8 回日本赤十字社臨床研修指導医養成講習会）

平成 27, 28 年：レジデントスキルアップセミナーに指導医として参加

H17 年 7 月～ H20 年 7 月：岩手医科大学第 4 学年鼠径ヘルニア講義

H17 年 6 月～ H24 年 6 月：岩手医科大学第 3 学年術後感染症講義

H16 年 11 月～ R1 年 11 月：岩手医科大学第 4 学年肝胆膵外科講義

私のもとではこれが学べる

いわてイーハトーヴ臨床研修病院群の掲げる基本理念は

1. 地域背景や経営母体を超えて、良き医師を育成すること
2. 研修医にとってベストの研修プログラム・教育環境を構築すること
3. グローバルスタンダードに基づく、プライマリケア研修を実践すること
4. 研修医と共に医療の質を向上すること

の 4 つですが、特に 1 と 3 に力を入れて行っています。救急車の搬送数が多い当院で救急疾患の診断と治療法を身につける事、また、当直や外来臨床を経験してプライマリケアの基本を取得することを 2 年間で学べる様に教育しております。

教育にかける思い

近年、医学の IT 化やデジタル技術の普及により、医学生は見たい・知りたい情報を素早くどこでも手に入れられるようになりました。何十件もの文献を図書館で探したり、手術書をあさって術式を勉強したりした私達の時代とは、全く違います。文献も手術法(手術ビデオ)も、PC があればすぐに見られるこの時代、変わっていないのは人の心だと思います。患者さんの不安な思いや辛い感情などは、時代が進んでも対応の仕方は変わっていないと思います。むしろ、高齢化や複雑な家庭環境で多様な対応が迫られているかもしれません。

「良医は病気を治すが、偉大な医師は患者を治す」(William Osler) に習って、研修医は病気のみを診るのではなく、(病気を持った)患者を診る気持ちを忘れないでほしいと思います。最近、長引く新型コロナウイルス感染症に加え、温暖化による地球環境の悪化、多発する大きな地震や戦争による世界経済の悪化など様々な社会問題が起きており、国民生活に閉塞感が漂っています。こうした不安定な世の中でも、私たち医療従事者のやるべき事はただ一つ、「来院され

た患者さまを快く診ること」だと思っております。研修医の皆さんは、そういったマインドを持って、診療に当たって頂きたいと思います。

医学生へのメッセージ

「寄らば大樹の陰」というように、大きな病院での屋根瓦方式の研修は、安心して確実な研修先といえます。当院は中規模の病院ですが、検査や手技を実践しながら、自身の主体性を持って経験を重ねていくのも、研修の仕方の一つと思います。当院の研修指導では、決してあなたを一人にはしません。最後まで、責任を持って指導します。2年間、宮古病院で研修してみませんか？